

## 造影剤を使用する検査のための説明書

(CT,尿路造影、胆道造影、血管造影、MRI)

この用紙は造影剤検査の必要性、副作用についての説明書です。検査当日までに必ずお読みになって下さい。

### \*造影剤について

- ① 検査をおこなう上でより詳しい画像情報を得るために用いる検査用薬剤です。
- ② 通常静脈注射で行います。

### \*造影剤の副作用について次のようなものがあります。

- ① 軽い副作用：嘔気、嘔吐、かゆみ、発疹などで頻度は3%程度（MRIは1%程）  
（基本的に治療は要しないものです）
- ② 重い副作用：呼吸困難、血圧低下、意識障害などで頻度は0.005%程度です。  
（通常は治療が必要で、後遺症が残る可能性があります）  
（MRIではさらに少ないと考えられています）
- ③ 他の薬剤と同様に症状、体質によっては、死亡例の報告があります。  
（40万例に1件で0.00025%との報告があります）
- ④ 副作用は、造影剤を使用した直後から症状が出る場合が大半ですが、1時間～1週間ほど経過してから症状が出てくる場合もあります。（遅発性副作用）。異常が出たときは、速やかに、昼間は担当科、夜間は救急外来へご連絡下さい。
- ⑤ 万一副作用が現れた場合、最善の処置を施しますので気分不良や違和感など有りましたら遠慮せず検査担当者に申し出てください。
- ⑥ 検査内容に承諾し同意書を提出されたあとでも、当日の体調不良や検査を受けなくなった場合は、主治医または診療放射線技師にご相談ください。

### \*検査後の注意

造影検査後は、水、お茶などの水分をいつもより多めに飲んでください。医師により水分制限をされている方は、医師の指示どおりにしてください。

### \*その他の注意

- ① 糖尿病のお薬（メトグルコ・メタクト・モトホルミン・ジベトス・ジベトンS グリコラン・メルピン・ネルビス・メデット・メトリオンなど）を飲んでおられる方は、検査前後2日間（検査日を含めて5日間）糖尿病のお薬を服用しないでください。  
（CT 造影検査、尿路造影検査等のヨード造影剤使用時）
- ② 造影剤は母乳中に移行しますので、造影剤注射後48時間の授乳は控えてください。  
この造影検査説明書で解らないことや質問などありましたら担当医、診療放射線技師、看護師にご質問、ご相談ください。